

7月20日 会場 飯岡地区構造改善センター

Q この場所は優良農地で、生産性もよい場所だ。その農地をつぶして、経済性は全体的に下がるのではないか。現施設の跡地には農地をつくれなのではないか。

A 経済性の検討は現在やっていない。地域が納得してくれば、決定前には試算したいが、現在はやっていない。

Q 市は、施設の「長寿命化・・・」の計画をもって取り組んでいる。ユピアスの利用についてはその長寿命化という計画と整合性が取れているのか。

A 市の「長寿命化・・・」計画と新しい焼却施設の建設は、切り離して、場所の選定を行っている。

Q 税金を投入して作ったユピアスをなくします、という前提なのか。

A 焼却施設がなくなれば、熱源がなくなることは事実だ。

Q かなり広い面積の農振除外となれば、農政局との協議となるのではないか。もしダメとなれば、改めて選定となるのか。

A 4カ所の候補地から1カ所に決めるが、協議の中で必ず通るかということは明言できない。その確認をしながら選定を行う。

Q 目的はわかったが、候補地の絞り込みの中で、「農業振興地域は外す」となった。これに引かかる地域だ。「誘致の要望があった」からということに、違和感がある。条件が元に戻っている。その経緯を教えてほしい。

A 絞り込みの際に農振地域を外すという除外をかけた。昨年8月に市民に情報提供を呼びかけた際、「圃場整備・建物のある場所であっても、情報提供があった場所は候補地として検討す」という条件を付けた。

Q 建物があっても・・・「同意がある」ということは、地権者は「農業をやめる」ということか。

A 実際に田の所有者から「やめる」という話はない。(商工会議所からの要望書では)「農業法人から『反対ではない』という確認をいただいている」ということだ。一人一人の土地所有者から了解をいただいているわけではない。

Q 農業振興の要望があったということだが、この地域は都市近郊の農業地域だ。要望の中で農業振興の内容を知らせてほしい。

A 通年型温水ハウス～通年でのハウス栽培を行い、冬場でも新鮮野菜を提供する施設、加えて産直施設で販売する施設などが提案されている。

Q 農業関連施設として、近隣には 市場・選果場・産直施設などがある。それらの利用者への説

明はないのか

A 第1回目の説明会として 地域の方々を対象とさせていただいた。今後の説明会は要望をいただいて対応したい。

Q 平成30年2月までに決めるということだが、最終的に市の税金がかからない方法でやってほしい（造成・道路建設など）4カ所が全部よいとなったら、どういう選定をするのか。

A 住民の理解が前提だ。仮に4カ所がよいとなった場合、中継施設などのコスト、熱エネルギーの活用施設・・・などを検討し、最終的には8市町の首長協議会で決めたい。

Q ダイオキシンなど排ガス中の有害物質の基準・排出量は、どのように変化しているのか。ここ30年ぐらいの変化を数字で示してほしい。

A 数字は後で示す。ダイオキシン対策は平成11年～14年で完了した、現在の市のクリーンセンターでは国の基準を大きく下る基準となっている。

Q 買い上げていただく金額が示されなければ賛成も反対もできない

A 決めるか過程の中で金額も示したい。次回には○×の回答を得るようにしたい

Q 説明会は2回のようなのだが、目的が増えることはないのか

A 今回は1回・2回でセットと考えている。それを行ったうえで、それぞれの候補地の状況を踏まえて繰り返し協議を進めて最終的に決めたい。

7月21日 同会場

Q 誘致要望について。農業団体の意見を踏まえた検討はいつ行われるのか

A 商工会議所都南運営協議会からは、農業団体から理解を得ているとのことだが、全ての土地所有者・団体から了解をいただいたということではない。今回の説明会を通じてどんな考えかをまず伺いたい。

Q 団体には、こういう説明会をするという照会はないのか

A 団体にもお話したい

Q ごみ焼却施設に関しての心配は ダイオキシン 騒音 悪臭などだ。それらに関するデータはあるのか。

A 排ガスの基準では、煤塵、ダイオキシン、硫黄酸化物などの排出基準が定められており、クリーンセンターはさらに厳しい基準を定めている。

Q 騒音についてはどうか

A 環境アセスメントを行い、例えば収集運搬車についてはできるだけ住宅付近は通らないような対策を講じる。

Q 報道によれば現クリーンセンターの地区の反対理由はここにあるのではないか。

A いわれる部分がある。クリンセンター周辺の学校で「喘息の罹患率が高い」などとも言っている。「覚書」違反ということもあるのでは・・・との会場からの指摘があり「施設行進の際には分散型で」という「覚書」と異なることも理由に挙げている。

Q 農振地域で優良な地域農業を営んでいる。消費者は、(焼却施設の)付近で作られた農作物を喜んで買ってくれるか心配だ。PRはしてくれるのか。

自分で耕作できない人も多く、この地区から借り受けてやっている。施設建設で、農業基盤が失われる。それに対する補償はされるのか。そういうところも心配している。

A 心配はその通りだ。風評被害については、基準を守っていることをPRする。具体的にどのような方法で行うかは、他都市の例も参考にしたい。

農業の継続については、土地所有者か実際に農業者の気持ちが大切なので話し合いをさせていただきたい

Q 経費削減ということだが、4地区の経費の算定は出すのか

A 盛岡市で年間15億円の経費削減になる

Q 第一条件が「経費削減」で、環境面はその次か

A 4カ所から1カ所に絞る上での、コスト計算はしていない。地域の理解が一番あって理解を得られるところ選定する。複数個所で○の場合、コストや地域振興など総合的に判断し、8市町の首長の協議会で検討する

Q 新しい施設の耐用年数を迎えた後の対応はどうなるのか。

A 地域と覚書を結ぶなど、建設後30年後の取り扱いは住民と協議して決める

Q 決定した後、地域の思いはどの程度くんでいただけるのか

A 自治会とかの意向を無視して建設することは考えていない。話し合いを詰めて一つにしたい

Q 決定の方法について、市が決定するのであれば市議会となるが、8市町の協議会となるが、地元自治会の意見は出しにくい。地権者も相当数いてメリットある人、デメリットの人もいて、自治会として正確な意見を出すことは難しい。決定へのチェック、意見の吸い上げ方はしっかり考えてほしい。

A しっかり受け止めて対応したい。

Q 観光施設としての+α効果を示してほしい

A 余熱利用施設、地域振興対策については、次回の説明会で提案したい